

# 第4回 ゲノム・オミックス連携推進セミナー

## ゲノム編集技術を応用した個人由来EBウイルス株の単離と解析

**神田 輝 教授**

東北医科薬科大学・医学部・微生物学教室

日時：6月19日（月）17時～18時

場所：東北メディカル・メガバンク棟 3階 大会議室

### セミナー要旨

ヒト腫瘍ウイルスであるEBウイルスは約175キロベースという大きな二本鎖DNAゲノムを有する。次世代シーケンズ技術の導入により、EBウイルスゲノム塩基配列の多様性と病原性との関連が注目されている。今回、ゲノム編集技術（CRISPR/Cas9）を応用して、潜伏感染細胞からEBウイルスゲノムDNA全長を直接クローン化できる新しい技術を開発した。この成果を応用して、日本人由来のEBウイルスゲノムDNAを一定数クローン化し、その多様性と病原性との関連を解析したいと考えている。本講演では、こうした研究の意義、およびこれを行うための技術基盤の現状についてお話しする。

担当：田邊 修（東北メディカル・メガバンク機構 ゲノムプラットフォーム連携センター）  
連絡先：contact@gpc.megabank.tohoku.ac.jp（芳賀）